

Red Hat Partner ワークショップ

OpenShift 基礎編

はじめの資料

レッドハット株式会社
パートナーソリューションアーキテクト部
最終更新日：2022年11月

各種リンクのご案内

～ QA / Workshop スライド / ハンズオンコンテンツ

コース説明のため、ドキュメントはそれぞれこちらにまとめています。

- ・ 説明資料（座学資料）

<https://bit.ly/3NT1FVz>

- ・ ハンズオン コンテンツ

<https://github.com/RH-OPEN/ptp-openshift/tree/main/modules>

- ・ QA は Slack の general チャンネルをお願いします。

<https://bit.ly/3ElZqaq>

お手元にご準備ください。

質問に関して

遠慮なくどんどんご質問ください

不明点は音声もしくは Slack の general チャンネルでご質問ください

<https://bit.ly/3ElZqaq>

本日のスケジュール

長時間となりますが楽しく実施しましょう！

タイムテーブル		開始	終了
1	PTPの説明、ラボ準備	13:00	13:20
	KubernetesとOpenShift	13:20	14:00
	(休憩)	14:00	14:05
2	OpenShift ユーザエクスペリエンス	14:05	14:30
	アプリケーションデプロイメント	14:30	15:05
3	クイズ（理解度チェック）	15:05	15:45
	(休憩)	15:45	15:55
4	ハンズオン	15:55	17:25
5	アンケート・まとめ	17:25	17:30

自己紹介 上田 尚人



出身: 千葉県松戸市

在住: 神奈川県茅ヶ崎市

経歴: ストレージ製品(概ねNAS、Object/Block少々)拡販など

趣味: サッカー、フットサル(サッカー一部の経験はなし)

今年から神奈川県シニアサッカーリーグ4部(40代のリーグ)のチームに入って修行しています。

週末に息子と江ノ電に乗って江の島周辺を散策したり、時々湘南ベルマーレの試合を見に行ったりしています。





自己紹介：岡野 浩史



Partner 担当 SA

- Partner の Red Hat ビジネス拡大が最大のミッション
 - Enablement 用コンテンツの作成と公開
 - 無償ワークショップの開発・開催
 - Demand Generation セミナー登壇
- Ansible 大好きを "公言"
 - 赤帽エンジニアブログ、各種自動化セミナー登壇
 - Ansible のイベントには良く引っ張られます...
- ・ 趣味
 - 天体観測、マラソン

自己紹介

1. 名前

- 鈴木 亮 / Ryo Suzuki

2. 普段やっている事

- パートナーソリューションアーキテクト (2020/07~)

3. このトレーニングでお届けしたい事

- 製品イメージを持っていただけるようなお話ができればと思っています！

4. 趣味

- 魚釣り

先日三浦海岸で船釣りをしました。釣ってから、料理まですると魚釣りの楽しさが倍増することを実感。



Red Hat Partner Training Portal

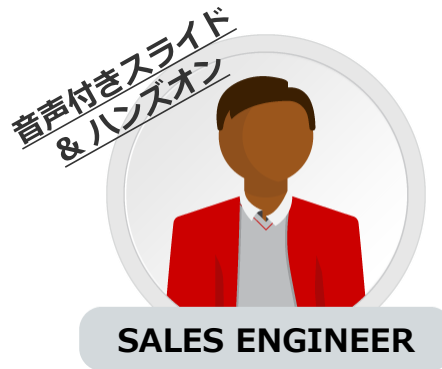
Red Hat Partner Training Portalとは？

Role(役割)ごとの育成ロードマップを提供

Red Hat Partner Training Portalは、Red Hat のパートナーの方向けの無償トレーニングの仕組みで、e-learningとオンラインのラボで構成されています。営業向け、セールスエンジニア向け、デリバリースペシャリスト向けのコースが提供されており、一部コースには日本語版も提供されています。



Red Hatの価値を理解
案件の精査
対競合優位性の理解
反論への対処
価格



技術的営業提案
案件の精査
対競合優位性の理解
反論への対処
デモの習得
製品の使い方に関するハンズオン



製品導入
アプリケーション開発
PoCの実施
ソリューションアーキテクチャー
インプリメンテーション含めたハンズオン



Red Hat Partner Training Portal

Red Hatは、パートナー様がRed Hat Partner Training Portalを通じてRed Hat製品・ソリューションのエキスパートになるためのトレーニングを提供します。
Red Hat 全製品を無償で網羅的に学ぶ事が出来ます。



グローバルで24時間365日アクセス可能



267種類以上のコースと
100種類以上のデモ



66種類以上の
Accreditation Path

2022年3月～



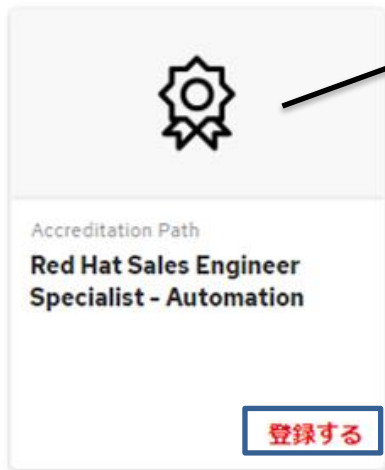
New addition

- ▶ 28コース(2022年10月28日現在)が利用可能に
- ▶ 全てのアクティブなRed Hatパートナー様が利用可能
- ▶ Red Hat 資格取得に向けた最適な準備
- ▶ 今後も続々と新しいコースが追加予定

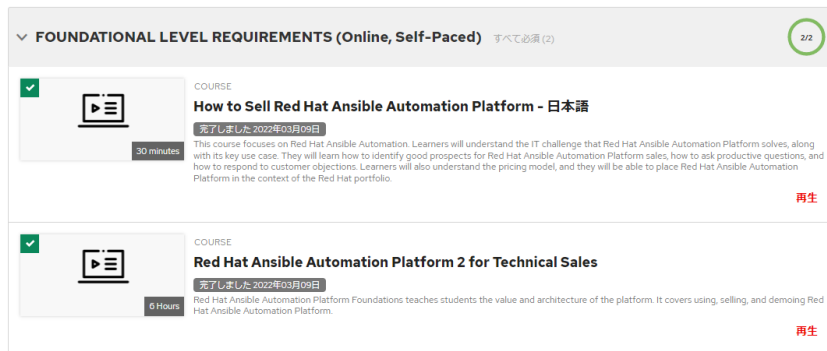
認定について

Partner Training Portal には単一のコースと複数のコースが Suite で提供される認定取得コースがあります。認定コースとなっており、以下二つを終了すると認定取得となります。

例. Ansible コース



このアイコンが認定コースであることを示しています



認定について - こんなものが届きます(pdf)



Red Hat
Partner Training Portal

Red Hat Accredited Professional

The Red Hat Partner Training Portal offers defining curricula on selling and delivering solutions. The owner of this diploma has demonstrated comprehensive, applied knowledge and a deep understanding of Red Hat products and solutions.

Name Hiroshi Okano

Accreditation Red Hat Sales Engineer Specialist - Automation

Date 30-09-22

**Valid for 2 years from completion date*





Red Hat Partner Training Portal catalog

The Red Hat Partner Training Portal helps partners build skills to generate more sales and enhance customer satisfaction. This training is complimentary for Red Hat Partners.



Red Hat
Training and Certification

Red Hat Training courses available

Red Hat is committed to helping partners build skills. Courses are available to partners at no cost.

[Learn more →](#)

コース一覧 --->> <https://red.ht/3Nfqvh4>

お勧めトレーニング - OpenShift 編 (初級)



学習コンテンツ名 : 『Red Hat Sales Engineer Specialist - Container Platform』

完了目安 : 21 時間 リンク : [Link](#)

含まれるコース

Red Hat OpenShift 4 Foundations - 日本語

セルフペース

無料

日本語

Red Hat OpenShift Container Platform の利点を説明し、ユースケースを特定して認定し、競合環境における Red Hat OpenShift 4 の位置付けを説明します。

このコースでは、技術的なアーキテクチャを説明し、Operator、CI/CD、Red Hat OpenShift Serverless テクノロジー、および Red Hat OpenShift Container Platform 4 を使用するパイプラインを紹介します。

How to Sell Red Hat OpenShift Container Platform - 日本語

セルフペース

無料

日本語

Red Hat OpenShift の概要とその基礎となる技術について説明します。Red Hat OpenShift の主な利点と提供サービスについて学びます。さらに、Red Hat OpenShift サブスクリプションの独自の価値と、それがどのように顧客のビジネスニーズを解決するのかについて学びます。

無償ワークショップ
開催中!!

お勧めトレーニング - OpenShift 編 (中級)

2021年まで有償であったコンテンツの一部が無償提供されるようになりました！
人気のコースの多くが含まれています。パートナー様だけの特典。是非ご利用ください！！

Delivery Red Hat OpenShift

9 Results for DO

Sort by: Best Match

Clear All

Course	Duration	Enroll
Red Hat OpenShift Migration Lab (DO326)	24 Hours	Enroll
Introduction to OpenShift Applications (DO101)	8 Hours	Enroll
Red Hat OpenShift Installation Lab (DO322)	16 Hours	Enroll
Red Hat OpenShift Administration II: Operating a Production Kubernetes Cluster (DO280)	24 Hours	Enroll
Red Hat OpenShift Development II: Containerizing Applications (DO288)	32 Hours	Enroll
Red Hat Cloud-Native Microservices Development with Quarkus (DO378)	32 Hours	Enroll
Red Hat OpenShift I: Containers & Kubernetes (DO180)	24 Hours	Enroll
Red Hat OpenShift Administration III: Scaling Kubernetes Deployments in the Enterprise (DO380)	32 Hours	Enroll
Self Paced	24 Hours	

 人気のコース

DO280 インフラ管理者向け
DO288 開発者向け

お勧めトレーニング - Ansible 編 (初級)



学習コンテンツ名：『Red Hat Sales Engineer Specialist - Automation』

完了目安：12 時間 リンク：[Link](#)

含まれるコース

How to Sell Red Hat Ansible Automation Platform - 日本語

セルフペース

無料

日本語

このコースは、Red Hat Ansible Automationに焦点を当てています。学習者は、Red Hat Ansible Automation Platformが解決するITの課題と、その主要なユースケースを理解します。彼らは、Red Hat Ansible Automation Platformの販売の良い見通しを特定する方法、生産的な質問をする方法、および顧客の反対意見に対応する方法を学びます。学習者は価格設定モデルも理解し、Red Hat Ansible Automation PlatformをRed Hatポートフォリオのコンテキストに配置できるようになります。

Red Hat Ansible Automation Platform 2 for Technical Sales

セルフペース

無料

英語

Red Hat Ansible Automation Platform Foundations では、プラットフォームの価値とアーキテクチャについて学びます。Red Hat Ansible Automation Platform の使い方、販売、デモについてハンズオンも含め学びます。

無償ワークショップ
開催中!!

お勧めトレーニング - Ansible 編 (中級)

2021年まで有償であったコンテンツの一部が無償提供されるようになりました！
人気のコースの多くが含まれています。パートナー様だけの特典。是非ご利用ください！！

Delivery Course Red Hat Ansible Automation Platform Red Hat Enterprise Linux Clear All

27 Results Sort by: Most Recent

Course	Duration	Action
Red Hat Enterprise Linux 8 New Features for Experienced Administrators (RH354)	32 Hours	Enroll
Red Hat Technical Exchange - Ansible Tower SAML/LDAP Configuration	15 Minutes	Enroll
Developing Advanced Automation with Red Hat Ansible Automation Platform (DO374)	32 Hours	Enroll
Red Hat Enterprise Linux Automation with Ansible (RH294)	32 Hours	Enroll
Red Hat System Administration 1 (RH124)	40 Hours	Enroll
Red Hat System Administration 2 (RH134)	40 Hours	Enroll
Hands-On with Red Hat Ansible Automation Platform 2	12 Hours	Enroll
SAP HANA with Pacemaker on Red Hat Enterprise Linux	16 Hours	Enroll

 人気のコース

RH294 基礎
DO374 応用

パートナー様向けポータル - <https://red.ht/pej>

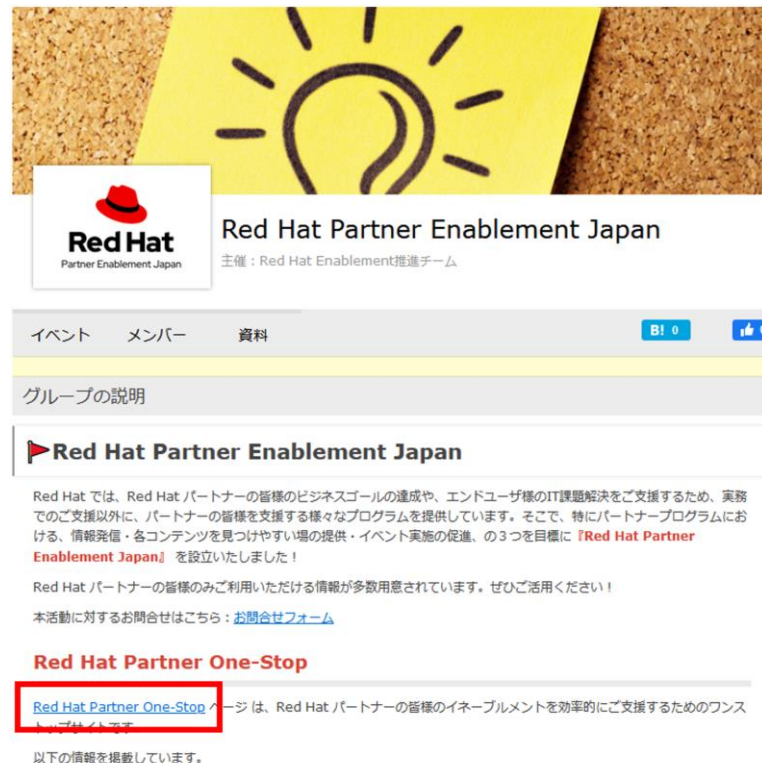
～ Red Hat Partner Enablement Japan !! ～



Red Hat の情報 & 無償ワークショップを提供

2020年10月オープン(メンバー約600名) !!

- 各種イベント(数回/月)
 - ハンズオンワークショップ (OpenShift, Ansible他)
実績 : 31回 / 延べ 約 500人 の参加者
 - 勉強会 (Partner Training Portal の活用方法など)
 - Red Hat イベント開催後のサマリ提供...etc
- Partner One-Stop (有用コンテンツへのリンク)
 - アカウント作成方法
 - 製品情報/戦略や顧客へのアプローチ用資料
 - 事例集 (業種別・総合)
 - サブスクリプションの数え方
 - ラーニングパス (効率的な学習方法)
 - 製品マニュアルや製品仕様へのリンク



パートナー様向けポータル - <https://red.ht/pej>

～ Partner One Stop ～

製品情報や事例など有用なリンク情報提供開始！

『Partner One-Stop』

<https://rh-open.github.io/>



有用なコンテンツ満載です。Red Hat について調べたい場合はまずここをご確認ください。

※コンテンツ閲覧には パートナーコネクTIDが必要となります。

Red Hat Partner One-Stop

Try any keyword

トレーニング関連情報

1. Red Hatのトレーニングコンテンツ
2. Red Hat Partner Training Portalの登録方法
3. Red Hat Partner Training Portalの使用法

製品紹介資料・事例・レポート関連

1. テーマ別アプローチ・戦略ガイド
2. 業種別 課題解決・事例
3. イベント関連資料リンク集
4. (オリジナル掲載済み) レッドハット製品情報

レッドハット製品情報

1. Red Hat Enterprise Linux
2. Red Hat Ansible Automation Platform
3. Red Hat OpenShift Container Platform

01. 製品説明資料

02. 製品技術資料

03. 学習リソース

04. 関連情報

4. Red Hat Integration
5. Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes
6. Red Hat Advanced Cluster Security for Kubernetes
7. Red Hat OpenShift Data Foundation (オリジナル掲載済み) その他情報

Products | openshift.mind

Red Hat OpenShift Container Platform



Red Hat
OpenShift

Red Hat OpenShift はエンタープライズ Kubernetes プラットフォームのリーダーであり、デプロイ先がどこであっても、クラウドのようなエクスペリエンスを実現します。クラウドでも、オンプレミスでも、エッジでも、Red Hat OpenShift を使用すると、一貫したエクスペリエンスを通じてアプリケーションを構築、デプロイ、実行する場所を選択できます。Red Hat OpenShift のフルスタックの自動運用と開発者向けのセルフサービス・プロビジョニングにより、複数のチームが連携して、開発からプロダクションへとアイデアを効率的に展開できます。

Note




本ページに記載のリンクの一部は、参照に Red Hat Partner Content Hubへのログインが必要です。Partner Content Hubのログインアカウントをお持ちでない場合、Red Hat Partner Training Portalの登録方法を参照し Partner Connectへの登録をご実施ください。

掲載資料へのお問合せ、資料のリンク切れなどは[こちらのフォーム](#)からお問合せください。



最終更新日: 2022/06/30

01. 製品説明資料

01-01. 製品概要

	ドキュメント名	概要	対象バージョン	記載確認日
	コンテナプラットフォーム Red Hat OpenShift の紹介	Red Hat OpenShift の紹介動画です。	-	2022/05/30
	Red Hat OpenShift -- Innovation without limitation	Red Hat OpenShift の製品紹介にご利用いただけるプレゼンテーション資料です。	-	2022/05/30
	Red Hat OpenShift Container Platform データシート	Red Hat OpenShift の特徴と機能の概要を記載したデータシートです。	-	2022/05/30

01-02. ソリューション・製品事例

	ドキュメント名	概要	対象バージョン	記載確認日
	JAPAN CUSTOMER SUCCESS SLIDES DECK	日本の事例を中心に、Red Hat 製品の事例を集約したプレゼンテーション資料です。	-	2022/07/07
	Red Hat お客様導入事例	Red Hat の製品事例を製品や業種、ビジネス課題をもとに検索可能なウェブサイトです。	-	2022/07/07

ワークショップの進め方

本日の対象コース（クイズで使います！）

今回実施するコースは「Red Hat OpenShift 4 Foundations - 日本語」です。 <https://red.ht/3t570jy>



Accreditation Path

Red Hat Sales Engineer Specialist - Container Platform

完了しました 2022年09月13日 登録日: 2022年09月12日 最後に完了しました: 2022年11月10日 Learning Path Duration 21 hours

登録解除 共有

2/2

説明 - 隠れる


Once all of the below coursework has been completed and the assessments passed, you will be accredited as Red Hat Sales Engineer Specialist - Container Platform.

Please note that the courses in this learning path will show translated content when available. To see translated content, set your preferred language in the 'Languages' menu. If no translated content is available, the English version will display.

▼ ELABs すべて必須 (2)

2/2

完了しました



12 hours

Course


Red Hat OpenShift 4 Foundations - 日本語

完了しました 2022年09月07日 最後に完了しました: 2022年11月10日

Red Hat OpenShift 4 Foundations introduces students to Red Hat OpenShift Container Platform, including the product's benefits, use cases, and competitive positioning. Topics covered include the technical architecture, the OpenShift web console, Operators, continuous integration/continuous delivery (CI/CD), Red Hat OpenShift Serverless technology, and pipelines using Red Hat OpenShift Container Platform 4. Students perform labs on a live, shared, cloud-based OpenShift cluster. After completing the course, students will understand and be able to demonstrate different aspects of Red Hat OpenShift Container Platform functionality and the user experience.

再生

完了しました



30 minutes

Course

How to Sell Red Hat OpenShift Container Platform - 日本語

完了しました 2022年09月12日

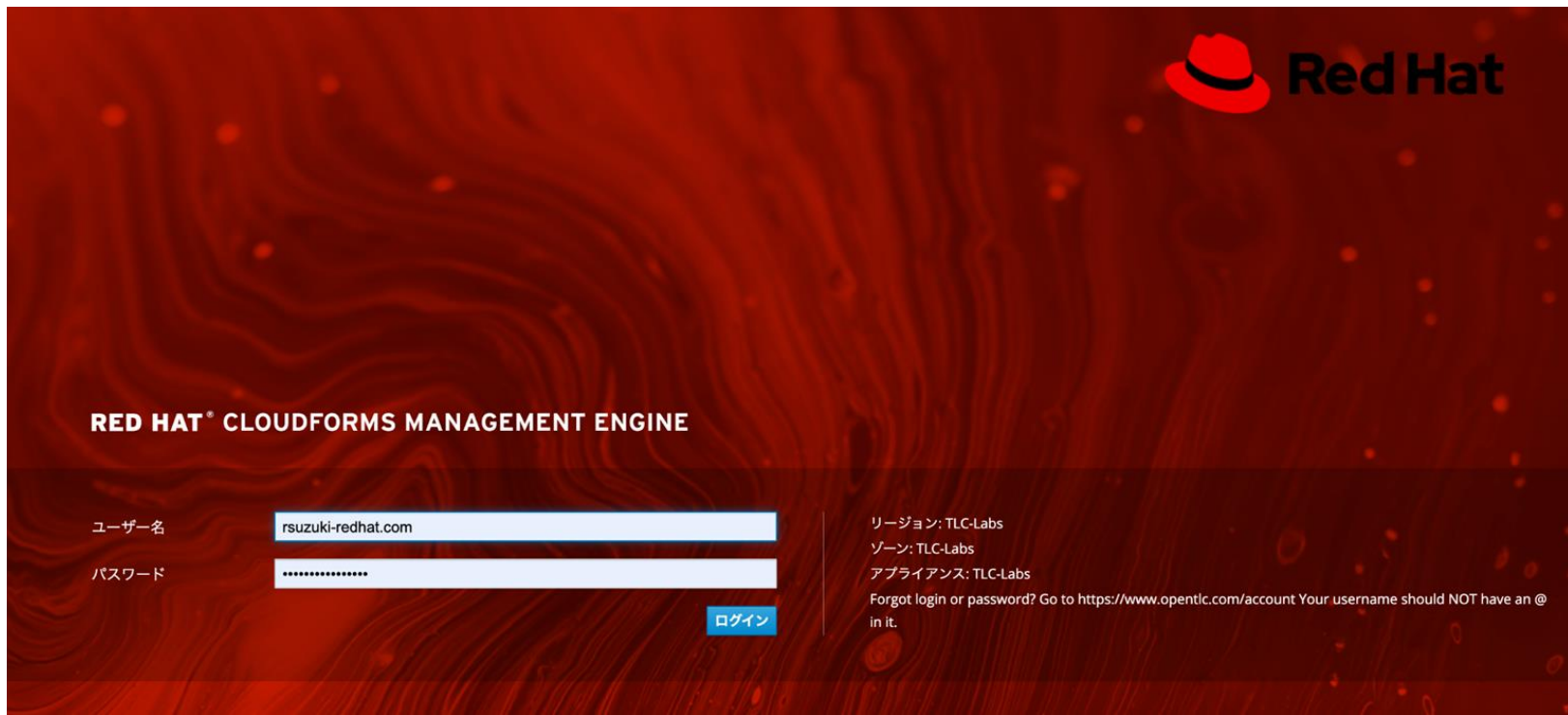
Containers are a powerful tool for spurring innovation in the enterprise. They provide a complete, compact application environment that allows development, testing, and deployment without disrupting the larger infrastructure. In this course, learners will understand how Red Hat OpenShift Container Platform enables IT operations and developers to collaborate.

再生

OPENTLCの環境のデプロイ

OPENTLC : <https://labs.opentlc.com/>

Username、パスワードを入力し、ログインしてください。



The image shows the login interface for the Red Hat CloudForms Management Engine. The background is a dark red with a wavy, wood-grain-like texture. In the top right corner, the Red Hat logo (a red fedora) and the text "Red Hat" are displayed. The main heading "RED HAT® CLOUDFORMS MANAGEMENT ENGINE" is centered in white. Below this, there are two input fields: "ユーザー名" (Username) with the value "rsuzuki-redhat.com" and "パスワード" (Password) with a masked value "*****". A blue "ログイン" (Login) button is positioned to the right of the password field. To the right of the login fields, there is a list of system details: "リージョン: TLC-Labs", "ゾーン: TLC-Labs", and "アプライアンス: TLC-Labs". At the bottom right, a link is provided for users who forgot their login or password: "Forgot login or password? Go to <https://www.opentlc.com/account> Your username should NOT have an @ in it."

RED HAT® CLOUDFORMS MANAGEMENT ENGINE

ユーザー名 rsuzuki-redhat.com

パスワード *****

ログイン

リージョン: TLC-Labs
ゾーン: TLC-Labs
アプライアンス: TLC-Labs

Forgot login or password? Go to <https://www.opentlc.com/account> Your username should NOT have an @ in it.

OPENTLCの環境のデプロイ

Step .1 以下の環境を選択してください。

OPENTLC

-> サービス

-> カタログ

-> OPENTLC OpenShift 4 Labs

-> Hands On with OpenShift 4.10

Step .2 オーダーをしてください。

- チェックを付ける
- Deploy の目的はTraining - As part of course でOK

Lab Information

Lab Information & Parameters

Catalog Item Status: Operational

Warning: **IMPORTANT PLEASE READ**
Please pay close attention to the information provided in this page.
After you order your environment, you can manage it by logging into this system and select Services -> My Services -> [This service] -> App Console.

Check this box to confirm that you understand and know your runtime and expiration dates. ☒

Purpose: Training - As part of course

Environment Lifetime: 7 Days

Expiration Date: 2021-10-29 06:49:05 UTC

Runtime: 4 Hours

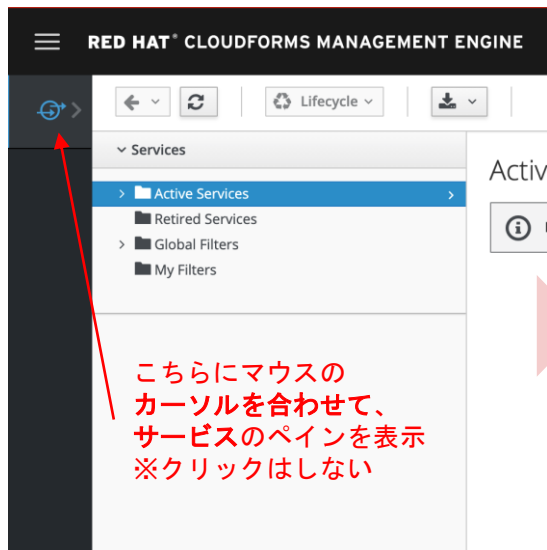
Region: NA

Environment: PROD

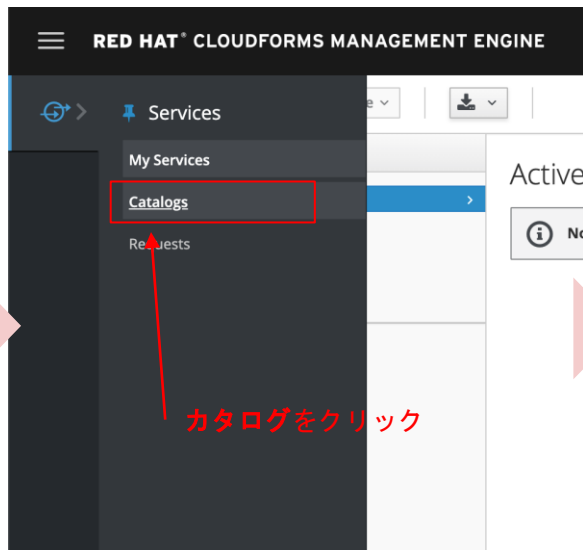
Submit Cancel

OPENTLCの環境のデプロイ Tips

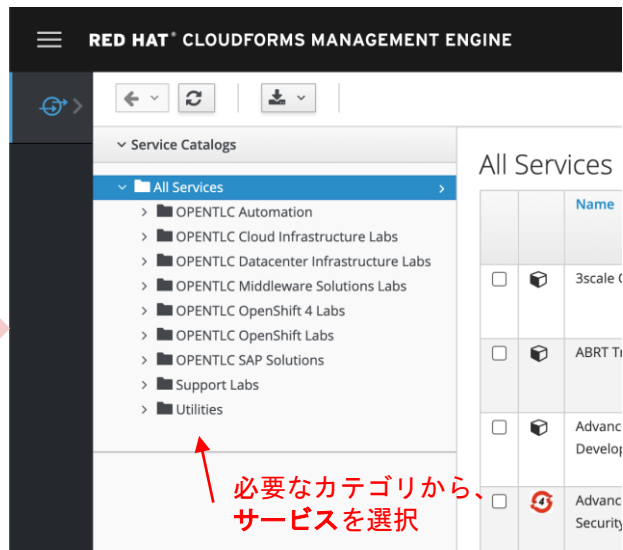
1. サービス



2. カタログ

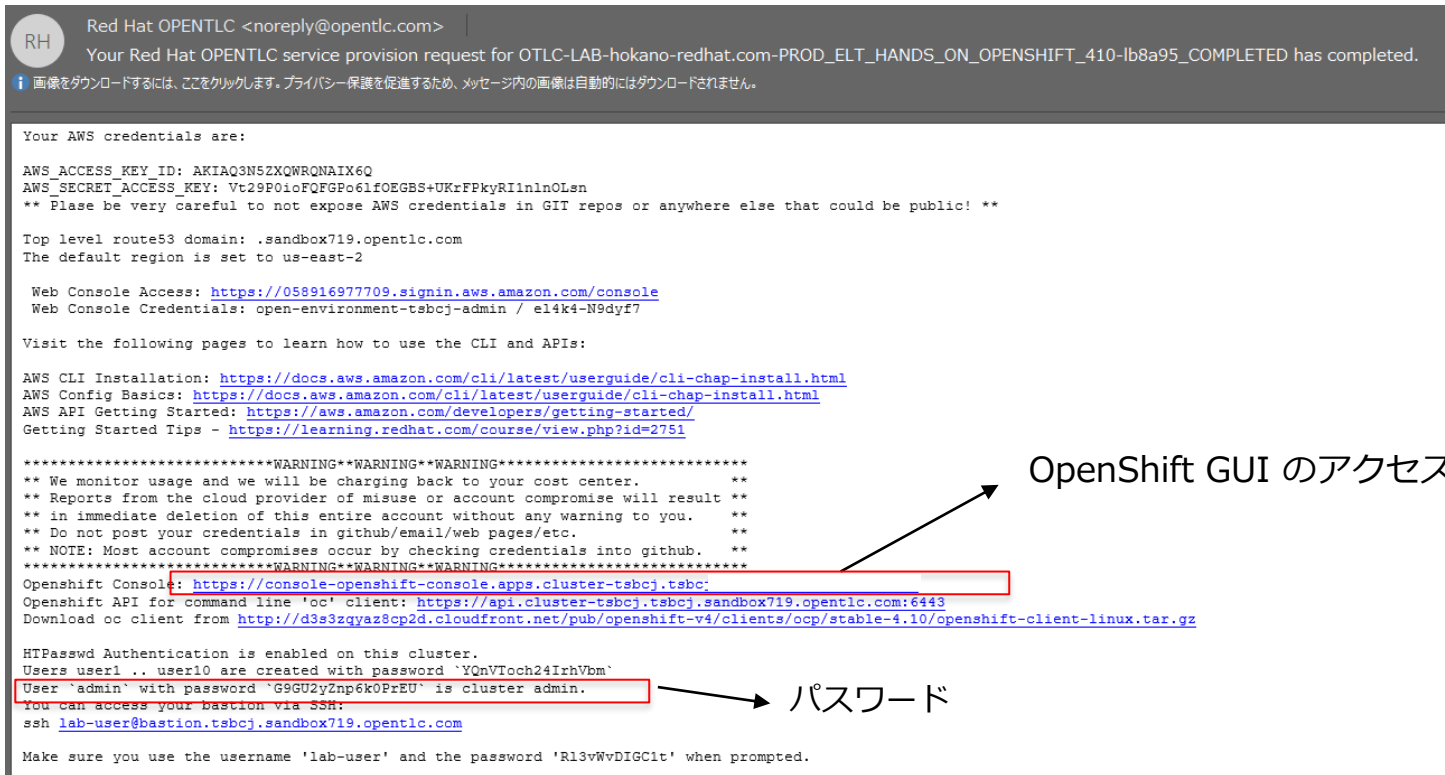


3. すべてのサービス



OPENTLCからのメールを確認（約60-90分後）

以下の様なメールが届くこと及びアクセス方法を確認



ワークショップ

本日のスケジュール

長時間となりますが楽しく実施しましょう！

タイムテーブル		開始	終了
1	PTPの説明、ラボ準備	13:00	13:20
	KubernetesとOpenShift	13:20	14:00
	(休憩)	14:00	14:05
2	OpenShift ユーザエクスペリエンス	14:05	14:30
	アプリケーションデプロイメント	14:30	15:05
3	クイズ（理解度チェック）	15:05	15:45
	(休憩)	15:45	15:55
4	ハンズオン	15:55	17:25
5	アンケート・まとめ	17:25	17:30

本日のスケジュール

長時間となりますが楽しく実施しましょう！

タイムテーブル		開始	終了
1	PTPの説明、ラボ準備	13:00	13:20
	KubernetesとOpenShift	13:20	14:00
	(休憩)	14:00	14:05
2	OpenShift ユーザエクスペリエンス	14:05	14:30
	アプリケーションデプロイメント	14:30	15:05
3	クイズ (理解度チェック)	15:05	15:45
	(休憩)	15:45	15:55
4	ハンズオン	15:55	17:25
5	アンケート・まとめ	17:25	17:30


理解度チェック - アセスメントの実施

<https://red.ht/3t570jy> にアクセスし、『Red Hat OpenShift 4 Foundations - 日本語』を『再生』します。

▼ ELABs

すべて必須 (2)

0/2



12 hours


Course

Red Hat OpenShift 4 Foundations - 日本語

未完了

Red Hat OpenShift 4 Foundations introduces students to Red Hat OpenShift Container Platform, including the product's benefits, use cases, and competitive positioning. Topics covered include the technical architecture, the OpenShift web console, Operators, continuous integration/continuous delivery (CI/CD), Red Hat OpenShift Serverless technology, and pipelines using Red Hat OpenShift Container Platform 4. Students perform labs on a live, shared, cloud-based OpenShift cluster. After completing the course, students will understand and be able to demonstrate different aspects of Red Hat OpenShift Container Platform functionality and the user experience.

再生



30 minutes

Course

How to Sell Red Hat OpenShift Container Platform - 日本語

未完了 追加された 2020年05月28日

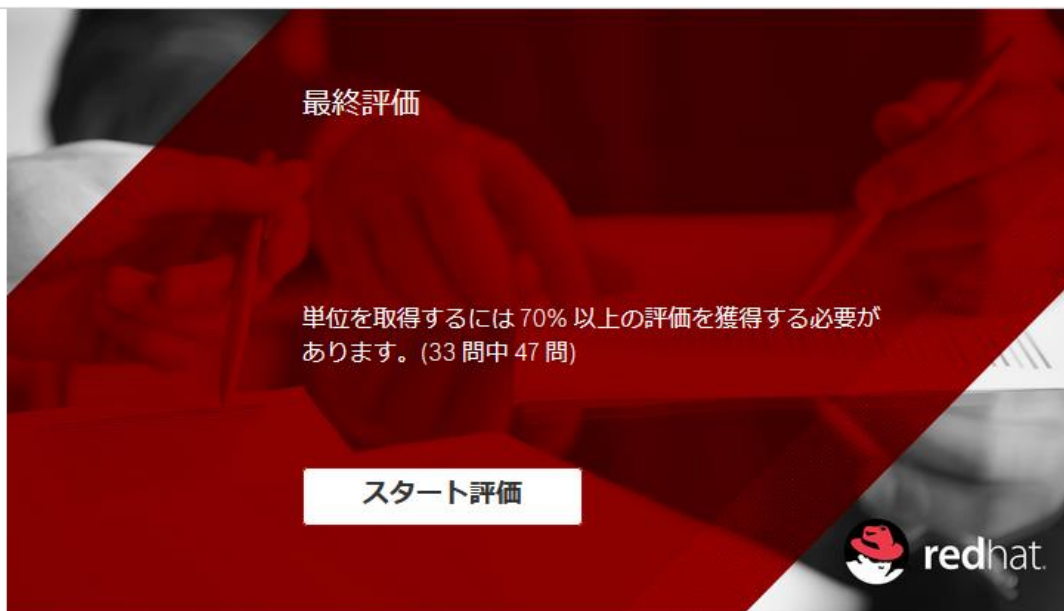
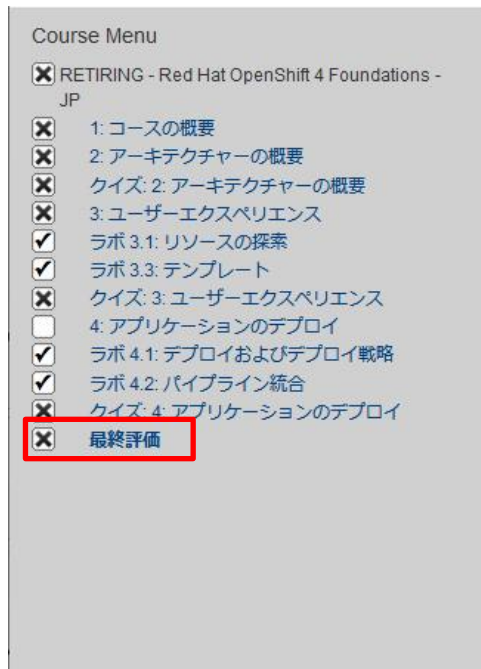
Containers are a powerful tool for spurring innovation in the enterprise. They provide a complete, compact application environment that allows development, testing, and deployment without disrupting the larger infrastructure. In this course, learners will understand how Red Hat OpenShift Container Platform enables IT operations and developers to collaborate.

再生

理解度チェック - アセスメントの実施

最終評価をクリックし、アセスメントを実施します。

47問中33問以上正解でコースクリアとなります。



本日のスケジュール

長時間となりますが楽しく実施しましょう！

タイムテーブル		開始	終了
1	PTPの説明、ラボ準備	13:00	13:20
	KubernetesとOpenShift	13:20	14:00
	(休憩)	14:00	14:05
2	OpenShift ユーザエクスペリエンス	14:05	14:30
	アプリケーションデプロイメント	14:30	15:05
3	クイズ（理解度チェック）	15:05	15:45
	(休憩)	15:45	15:55
4	ハンズオン	15:55	17:25
5	アンケート・まとめ	17:25	17:30

ハンズオン コンテンツ

<https://github.com/RH-OPEN/ptp-openshift/tree/main/modules>

お手元にご準備ください。

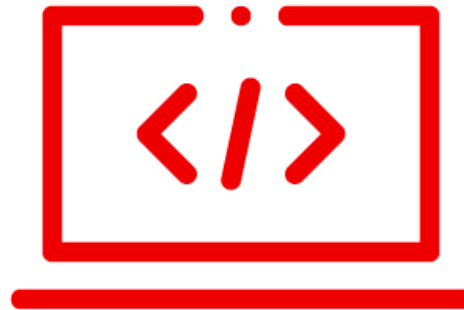
休憩

XX:XX-XX:XX



ハンズオン実施中

～xx:xx まで



アセスメント実施中
終了された方は休憩を取ってください。

XX:XX-XX:XX



Thank you

Red Hat is the world's leading provider of enterprise open source software solutions. Award-winning support, training, and consulting services make Red Hat a trusted adviser to the Fortune 500.

